

平成 29 年 5 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

5 月の業種別景況の前月比 DI 値は、14 業種の内、好転が 1 業種、6 業種が同等、7 業種が悪化となり、全体の景況感も悪化している。

商店街では人通りが増え売上が多少上向いているとの報告もあるが、繊維工業からは端境期による仕事量の減少や、運輸業からは大型連休による稼働率低下の影響の報告もある。

為替変動や海外リスクも気になるところではあるが、人手不足や後継者不足が、企業経営の喫緊の課題となっている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 5 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況

（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 3.8% 悪化：28.8% DI 値：▲25.0% ポイント

売上高

（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加： 20.0% 減少：31.3% DI 値：▲11.3% ポイント

収益状況

（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 7.5% 悪化：25.0% DI 値：▲17.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 29 年 5 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲42.9	0.0	▲33.3	▲50.0	▲50.0	11.1	50.0	▲18.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲60.0	▲33.3	▲50.0	▲18.2	▲20.0	▲14.3	▲100.0	▲29.8
							

全体
▲25.0


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	山口県内のゆめタウンの売上は安定している。長門市の元乃隅稲荷神社近辺に土産品売り場を望む声が数件出ている。求人しても人が集まらず、今後のパートの社会保険加入についての関心が高くなっている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	雇用面では厳しい状況が引き続いている。	パン・菓子製造業 下関市
	4月は対前年同月比で1.3%と辛うじて前年をクリア。5月は5/24時点で昨年とほぼ同様の売上で推移している。GW期間は天候に恵まれカレンダーの並びもよかったため対前年で2.4%のプラスとなった。平成28年度決算は大幅減収微減益であったが、経費の節減により黒字を確保し、また、前年度で開業時の銀行借入金を完済し経営的には身軽な状態になった。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが悪い。今後の世の流れが読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	春の長雨の影響で、麦や野菜などの農作物の生育について、影響が出ている。地球温暖化に伴い、異常気象のせいか、過去の知見が全くいかせない状況となっており、企業経営における天候リスクがさらに高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような、農産物の売り上げに関する保険制度のような仕組みづくりが必要になってきている。地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要となる。アメリカがパリ協定の離脱を表明するなど、二酸化炭素を排出しない社会づくりに厳しい状況が出ているので、電気自動車の普及対策や水素ステーションの充実などが必要となってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	端境期のため、仕事量が大変少ない。	外衣・シャツ製造業 下関市
	連休後の追加発注で受注状況は盆前まで確保できている。確保はできたが資材等の準備がうまくいかなかった。ここに来て、資材が一気に揃いはじめ現場が混乱状態である。製品納期がほぼ決まっているため、生産体制が心配である。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	組合員の生産が少し上向いてきた模様。	製材業・木製品製造業 山口市
	建築部門を併設、もしくは、大手木工事業所と取引のある組合員は良いが、地元工務店のみの取引の組	製材業・木製品製造業 下関市

	合員は苦戦している。	
印刷	4月に引き続き5月も低調で、各社とも売上確保に苦慮している模様。	印刷 下関市
	県庁の最低制限価格物件が取れたため一時的に売り上げは上がったが、依然として印刷物件は減少傾向にあり、夏枯れがますます心配になってくる。	印刷 山口市
窯業・土石製品	5月の出荷量は、 (平成28年5月) 骨材 70%、路盤材109%、再生材111% ↓ (平成29年5月) 骨材 98%、路盤材 92%、再生材108%	砕石製造業
	出荷量は、前月比88%、前年同月比92%。平成29年度は前年度比約92%と4年連続で減少する厳しい見通しとなっている。現時点では、セメント・骨材等の資材調達で、特に問題は生じておらず、生コン価格は安定している。	生コンクリート製造業
	地域によって業務内容に差が出ている模様である。お寺の墓地造成で、移転の依頼が多く入っている事業所もあれば、撤去の仕事しかないという事業所もある。いずれにせよ新規の仕事は少ないが、移転の仕事は移転先の状況を見て、いろいろと提案をする事で、費用が変わってくる場合があるので、顧客の好みに合うような様々な図面や見積もりを用意して対応している。	石工品製造業
	昨年度からの継続事業として共同販売・ネット販売事業・HP・カタログ等による広報活動事業の充実を目標に掲げている。萩市内の5月観光客数及び売上は前年同月比で同等に推移している。5月1～5日の萩焼まつりは、入場者数29,600人(昨年29,300)の横ばい、売上は46,063,000円(昨年49,232,000)とやや落としている。組合が商品を提供している浅草のアンテナショップの5月売上は、前年同月比で、入館者数の減少のためやや下回っている。関東方面・関西方面の百貨店や問屋・陶器店からの受注は、前年同月比で同等に推移しているように思われる。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	5月は決算の発表月で赤字決算というところが2、3組合員程ある。しかし、大型物件の受注や見積等引き合いが多く、受注に結び付く可能性が高い状況にあり、今期に期待し努力している。海外プラント関係の受注はこれまで中近東であったが、東南アジアへシフトしている。雇用面は相変わらず人手不足。組合ではアメリカ大統領のちぐはぐな政策に振り回	一般機械器具製造業 防府市

	<p>されてはならないという意識で足元の経営に取り組んでいる。</p>	
	<p>機械検査、機械加工関係の下請企業の受注状況は引き続き安定している。食肉加工、惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多く、パート、派遣も含め人材の確保が困難であり、外国人技能実習生増員の相談を受けている。また、建設、自動車整備関係企業からも受入の相談があった。なお、介護の受入についても、複数の介護施設からの要望があり、今後、受入希望が増加することが想定されるが、相手が人なので慎重な対応が求められる。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
	<p>ほぼ前月通りで推移しているが、売上高は微増している。</p>	
	<p>金型製造関係の生産状況は前年同月とほぼ大差なく、成形製品関係の生産状況は稼働日数の割には予測以上の実績であった。</p>	<p>特殊産業用機械製造業</p>
<p>輸送機器</p>	<p>鉄道車両部門は輸出車両の増産体制に入り好調な生産を維持している。精密加工部門は長期は見通せないものの、まずまずの生産状況で心配した落ち込みは少ない。産業プラント部門の受注が暗雲の状況で対策が急がれる。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
<p>卸売業</p>	<p>平成28年度の海苔の全国取扱高は75億枚で昨年度より1%程度上回ったが、1枚当たりの全国平均単価は1円56銭高の13円7銭となり、昨年度を15%上回っている。業務用の需要が海苔の養殖を支えているのが現状であるが、昨今の産地価格の推移をみると低品質の価格が高く、その筋の製品を増産することによって海苔生産者の生計が何とか支えられている状況である。海苔製品の販売価格を値上げしなければならない状態に追い込まれているが、なかなか思うようにならない現実がある。</p>	<p>乾物卸売業</p>
	<p>前年が非常に悪状況だったため今年は荷が増えているだけ良いが、販売先は確実に減少している。また雇用人員の確保が厳しくなっており、外国人が増えている。</p>	<p>生鮮・魚介卸売業</p>
	<p>新年度となり4月はある程度商品が動いたが、5月に入り商品の動きが落ち着いてきた。</p>	<p>各種商品卸売業</p>
<p>小売業</p>	<p>今月の売上は前年と同じか減収の模様。特に田舎のお店では農繁期の影響もあり客数が減少している。また、毎月末の給料日の客数や売上が減ってきている。夏に向けて日焼け止めなどの季節商品が売れることに期待している。</p>	<p>化粧品小売業</p>

	地区の中小企業者の動向は、米軍艦載機の岩国基地への移駐が現実のものとなりつつあり、政府の岩国市への基地対策予算に期待している。建設業・設備業は防音工事等で恩恵があるが、小売業については従来通り厳しい状況が続いている。飲食サービス業は由宇町への米兵やカープ観戦者の訪問もあり、消費拡大に期待している。労働者不足は一層深刻となり解決策が見出せない状況である。	各種商品小売業 岩国市
	例年5月の来街者は少ないが、本年も同じ傾向であった。	各種商品小売業 周南市
	5月の後半は暑くなってきたので少し客数が増加し売上も少し上がったようであるが、まだまだ厳しいところである。新規客に期待したいが、固定客に留まっている。	各種商品小売業 山口市
	昨年の冬から年度末にかけて、「来客数が減っている」と組合員店が話していたが、暖かくなり4、5月と少し持ち直してきたように感じる。	各種商品小売業 下関市
	全店ベースで、売上は前年を若干上回る状況だが、客数は前年を下回っている。	各種商品小売業 長門市
商店街	衣料品を中心に売上低調、全体的には緩やかな持ち直しの動きと言われているが、実感はない。	山口市
	店をやめる方が多くなっている。組合の固定費の苦情が若干出始め、売上が伸びていないことを実感している。	宇部市
	商店街の人通りが多少増えた模様で、各店ともお客さんのニーズに応えられるように陳列等レイアウトを変えている。季節商品の店の売上も多少上向きの模様で、もっと人通りが多くなることに期待している。	萩市
サービス業	天気が良かったこととゴールデンウィークが大型連休になったことで、人の動きが良く昨年より売上げが増加している。後半は減少しているが、全体的に好転している。	美容業
	転勤、入学等が落ち着いたのか、来客は減少傾向である。	理容業
	28年度に当組合を退会した16事業者の内、半数の8事業者において後継者がいないために廃業に至っている。今後、自動車整備事業者の高齢化が進み、後継者がいないために廃業に追い込まれるケースは増加することが予想され、厳しい環境となりつつある。	自動車整備業
	人手不足が続いている。同業者との話題も人手不足が中心となっている。	スポーツ・健康教授業

	宿泊人員は対前年同月比で97%。売上高はほぼ前年並みとなった。	旅館業 山口市
	サービス業に従事する人材不足。予約は入るが、対応する人材不足のため断らなくてはならない事がある。宿泊の稼働率が上がってきている。	旅館業 下関市
	施設利用者（入浴者数）は対前年同月比6.6%の減少。売上高についても対前年同月比10%の減額となった。	旅館業 長門市
	GWにより客数が増加した組合員店舗もあれば、店舗の種類によっては減少した組合員店舗もある。売上はGWの反動等を考えると、例年と同程度と考える。	飲食業
	4月上旬の売上の不振を下旬からGWにかけて若干取り戻せたが、やはり出遅れが大きく4月は前年比-20%程度。GW明けに期待をしていたが、寒暖の差が激しく、5月も伸び悩み-10%程度。年間を通じて±0なら御の字だが、かなり厳しい状況となっている。毛布・布団など動き始めているので、5月末から6月に期待したい。	普通洗濯業
建設業	4月中電への工事申請は111件、太陽光発電の申請23件、オール電化申請49件。LED街路灯への切替・新設は27件であった。	電気工事業
	春先からの工事量の減少が続いているが、秋口からは工事量の回復が見込まれる。4年余り前からの好調な決算の事業所が多く、しばらくは余裕を持って対応出来るものと思われる。	左官業
	例年よりも早く発注があり皆忙しくしている。例年並みの発注規模の予定と聞いてはいるが、前倒しの発注で年度後半の仕事があるかどうか少し不安がある。異業種からの参入もあり年々競争が激しくなっているのも不安要素である。工事に欠かせない誘導員（ガードマン）については、警備会社等への就職者が無く、また、定年者分の補充も出来なかったとのことで、全体的に人員不足となり、人件費が2割増し等の値上げとなっている。各種単価の見直しがあったにもかかわらず、収支があわなくなっている。ガソリンは127円でこのところ落ち着いている。	管工事業
	梅雨入り前で、組合員は屋根工事の消化に全力を挙げている模様である。時節柄、現場での墜落災害・熱中症等の労災事故が発生しないよう注意喚起を促している。	屋根工事業
	5月の内装工事業は一旦落ち着いた模様である。稼働率が75%位となり、ぼちぼち工程表に空きが見えてきた。6月は5月以上に空いてくるのではないかと思われ、稼働率50%くらいとなりそうで、7	内装工事業

	月に入ると稼働率100%がしばらく続くと予想している。	
	28年度末に3社が組合を脱退。この原因は工事量の減少と後継者がいない事が推察される。この業界には活気と活力が戻っておらず、若い後継者もあまり夢を語らない。若者の確保と女性活躍の場の提供等が新しい風に思われるが、政策が届いていない模様である。	土木工事業 柳井市
	平成29年5月の受注高は、対前年同月比2%。今年度の累計は、対前年比45%	土木工事業 萩市
運輸業	今年度の大型連休は超大型で稼働率が大きく低下した。運転者の高齢化が進み、特に長距離ドライバー不足が目立つ。輸出関係の売上は特に低下し、国内向けは横ばいで、結果として前年同月比で約1割のマイナスであった。燃料費は1.6円の値上げ。円相場に一喜一憂の月であった。	一般貨物自動車運送業 下松市
	今月の輸送受注は、前年同月比で5%程度のプラスの見通しであるが、毎月安定しない受注が続いている。下期には上向くとの話もあるが明確な見通しは立っていない。燃料価格は、前月比で同水準であるが、前年同月比では22%程度の値上がりとなっている。	一般貨物自動車運送業 防府市
	年度末の繁忙期が終わり落ち着いて来ている。高卒者の採用活動開始に向けて準備を始めている。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	売上高は僅かに減少している。前年同月に比べ組合員の10%にあたる3名が減少し、今の組合員数で維持していくしかない現状は窮地に立たされているとしか言いようがない。	一般旅客自動車運送業 下関市
	タクシーチケットの取扱金額は、前年比+2.2%(平成29年4月1日～平成29年5月20日分)。4月1日～30日分は▲0.01%、5月1日～20日分は+6.8%。前年度の金額が大幅に落ちた事(▲7.3%)もあるが、少し回復傾向にあるように思う。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域。4月分については、周南▲1.3%、下松+14.9%、光▲0.0%、防府市地区が▲9.4%で、組合員の全域では▲1.3%、地区外(員外)+15.0%で合計▲0.0%。主要燃料であるLPGについては、CP(通告価格)と為替に連動して変動し、前月に続いて下がったが、ブタン、プロパンのCPはまだ高い状態。(前月545.0\$/トンが今月440.0\$/トン)。為替も少し円高になり、燃料単価は、前月より▲10%となったが、前年5月分に比べると+10%となっている。タクシー乗務員は慢性的に不	一般旅客自動車運送業 周南市

	<p>足し、高齢で退職する人員減少を採用で補いきれないため稼働できない車両がある状況。例年通り、連休期間はタクシー需要が減少したが、今年は前年よりも少し良い状況である。前年同月が前々年度に比べて大幅に減少したので、少し回復しているが、まだ前々年度の同月分までは追いつかない状況。</p>	
	<p>取扱高は若干減少気味で推移している。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他非製造業</p>	<p>人手不足に悩んでおり、技能実習制度に期待している。</p>	<p>介護事業</p>